



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2010～2011 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「心をつくし、力を合わせて」

◆会長 清水 幸平 ◆幹事 大保木 正博 ◆会報委員長 今井 俊治 ◆会報担当 谷腰 康夫

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F
TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488
◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600
◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～
◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 882 回	48 名	47 名	39 名	—	82.98%
前々回 880 回	48 名	47 名	40 名	3 名	91.49%

<点 鐘> 会長 清水 幸平
<ソング> 我らの生業

<本日のゲスト>
高山市史編纂委員 田中 彰 様

<会長の時間> 会長 清水 幸平

皆様こんにちは。創立 20 周年記念旅行に参加された皆さんご苦労様でした。島委員長を始め 20 周年実行委員会の皆様にはたいへんお世話になりありがとうございました。ゴルフ組、動物園組、函館組、単独組など、それぞれのコースも天気にも恵まれ、順調に進行されたようで良かったです。ただし、帰りの飛行機が機体の故障で出発が遅れたり、台風のため着陸が難しいとの案内があったりで心配しました。そしてたった今聞きましたが、富山空港着の便が着陸できずに羽田空港へ引き返したそうです。搭乗しておられた会員の皆様にはとんだ災難でした。お疲れ様でした。私は函館へは初めて行きました。北海道の開拓や発展の歴史を建物や文化をとおして体験できたように思います。五稜郭や元町、赤レンガ倉庫群を見学しました。そんなに大きな町ではありませんでしたが、楽しみな街でした。海産物も豊富で気候もよく住みやすい土地のようです。もう一度ゆっくり訪れたいと思っています。本日は、ロータリー情報委員会の担当例会です。パリの街づくりのお話をして頂けるとのこと、興味深く聞かせて頂きます。

<幹事報告> 幹事 大保木 正博

- ◎ R I 本部より
 - ・ロータリーアン誌
- ◎ 国際ロータリー第 2630 地区
ガバナーエレクト事務所より
 - ・2011-12 年度
第 1 回ロータリー財団地域セミナー開催のお知らせ
日 時：6 月 30 日 (木) 8:00～16:00
会 場：グランドプリンスホテル高輪 (東京)
出席者：ガバナー補佐・会長・財団委員長
R 財団に関心のあるロータリーアン
登録料：10,000 円

<高山市生涯学習課長より>

- ・放送大学岐阜学習センター開設 20 周年
記念式典及び公開講演会のご案内
日時：6 月 5 日 (日) 13:30～16:25
会場：高山市図書館「煥章館」

<本日のプログラム>
ロータリー情報委員会

松之木 映一 委員長

皆様、こんにちは。
本日の講師 田中彰さんに「パリの景観対策と城下町高山」について講演いただくわけですが、本日の例会はロータリー情報委員会担当ですので、フランスの会員数・クラブ数・パリの会員数・クラブ数について、2011 年 1 月 31 日のデータにもとづいて話をします。フランスでは、クラブ数 1,057 クラブ、会員数 33,275 人、パリを含む 1660 地区では 65 クラブ、会員数 2,091 人で、パリクラブは 1921 年の創立で会員数 249 名です。以上がロータリー情報です。それでは、本日の講師の田中彰さんのプロフィールを紹介させていただきます。昭和 26 年 3 月生まれで現在、高山市三福寺町に在住です。高山市役所に勤務中は、文化財課長、郷土館館長などを歴任され、平成 21 年 3 月で退職されました。現在は高山市史編纂委員で、各所で講演されています。新郷土館の飛騨高山まちの博物館の展示も手掛けられました。それでは宜しくお願いします。

「フランスの景観制度」

高山市史編纂委員 田中 彰 様

①はじめに

- ・フランスの国土は日本の 2 倍、人口は 2 分の 1。山岳がなく、表日本、裏日本という気候風土はない。パリの緯度は樺太くらいで、そんな位置なので、私がパリを訪れた 11 月下旬は日中 2～3 度、朝 8 時頃によく明るくなり、午後 4 時 30 分には真っ暗になってしまう。
- ・調査の目的は、城下町高山と城壁都市パリとの共通する歴史的文化的的事象、歴史建物群とを比較検討し、城下町高山の都市形成の歩みを調査、研究、顕彰しようというものである。
- ・建築は文化の表現であり、それらが集合した建物群は文

化遺産として尊重されるべきであり、公益的に都市等の景観保全がなされるべきである。そのことはフランスの建築に関する法律の第 1 条にある。

- ・今日、日本でも都市計画において景観対策がはかられ、一昔前の経済発展の中での都市計画と様相が変わってきた。
- ・フランスにおいては、文化と伝統を生かした町並みを公共のものとして保存してきた長い歴史がある。国や自治体の意思があったことは勿論であるが、住民がそれらを社会の財産として受けつぎ、伝承してゆこうという意識を強く持っていたことは、おおいに学ぶべきかと思う。



②皇帝、大統領による美観整備

- ・フランスでの美観整備は歴史の皇帝や国王によって連綿と受け継がれた。その中で最初に統一されたファサードがつくられたのは 17 世紀である。
- ・意欲的な国王はアンリ四世 (1589～1610 在位) で、ルーブル宮殿拡張、ボンヌフをつくった。この国王の遺産は今でも大いに活用されている。
- ・ナポレオン三世 (19 世紀半ば) は、オスマンをしてパリ大改造をした。1852～1869 年までの間にパリの全住居の 7 分の 3 が取りこわされ、放射状の道路による交通のネットワークがつくられた。外科手術による美観整備である。
「プールヴァール」と呼ばれる並木を植えた大通りをつくり、この大通りの軸線上にオペラ座、凱旋門、サン・オーギュスタン教会などのモニュメントが配置されている。バロックの都市計画手法である。

③都市壁で囲まれたパリ

- ・我国では、都市全体を壁で囲ったところは、「壁」という施設に絞った場合は現存例がない。
奈良の今井町のように堀で囲ったり、城下町高山も、宮川と江名子川で城と武家屋敷、町人地を川を防護壁として囲い込んでいるので、防御の壁としては同じ事である。

④300 年前からの文化遺産を今も！

- ・フランスでは国指定歴史的建造物に関する法律は 1913 年、1927 年には登録制度ができています。
現在、外部、内部とも文化省の許可が必要。
- ・1943 年には、歴史的建造物の周囲を半径 500m 範囲で建設規制する制度ができた。
- ・教会や貴族の王宮などを核に、周辺のほとんどが歴史的町並みの保全につながっている。

⑤歴史的建造物の周囲 500m 規制

- ・周囲 500m (半径) について都市景観の保全が法により規制されている。「指定建造物と共に見えるあらゆる建造物」が規制。

⑥屋外広告物の規制

- ・フランスの 2 つの重要制度は半径 500m 規制と、屋外広告物の規制である。市町村が決めるのではなく、法として適用される。
- ・下記のとおり定義している。
店舗に設置するもの⇒看板
前方に店舗があることを知らせる⇒予告看板
それ以外⇒広告
- ・広告については、農村部では禁止。どこまで行ってもきれいな農村風景が続いている。都市部では許可される。ただし、都市部で歴史的、文化的に価値の高い地域では禁止。
- ・地域の特性を考えて、ゾーニングを設定し、緩和できるような考慮。商業地域では広告規制を緩和、歴史的市街地では厳しく規制。

<ニコニコBOX>

本日の講師 田中 彰 様の御来訪を心から歓迎申し上げます。大変楽しみにしています。よろしくお祈りします。

理事役員一同

20 周年の記念例会と記念旅行の全てを終了させて頂きまして、誠にありがとうございました。高山中央 RC の皆様方、ご家族に心より感謝申し上げます。 島 良明

北海道旅行お疲れ様でした。ゴルフ組の会費が余りましたのでニコニコへ。 ゴルフ組

20 周年記念旅行は楽しく行く事が出来ました。島さんありがとうございました。皆様無事に帰ってこられて感謝しています。田中彰様には、本日の講演よろしく御願い致します。 清水 幸平 平林 英一

田中さんのご来訪を歓迎申し上げます。無事、20 周年の行事が終了したことに感謝し、合せて全日空よりお詫びのお金を頂いた 1000 円も含めてニコニコへ。まだ帰っていないメンバーの無事を祈って。 橋本 修

今回の記念旅行では、ロータリー仲間の心地良い友情を肌で感じ、素晴らしい思い出が出来ました。特に永家君、道下君には運転させっぱなしでした。また今度もよろしくお祈りします。 永井 信次

20 周年記念旅行に参加された皆様、ハラハラドキドキ、本当に思い出に残る楽しい旅行でした。大変ご苦勞様でした。本日の講師 田中彰様 色々とお世話を掛けます。よろしくお祈りします。 松之木 映一

本日の講師 田中彰様のお話を楽しみにしておりますが、市役所にて 1:30 から会議の為少しだけ早退しますので申し訳ありません。 三枝 祥一

20 周年記念旅行楽しく過ごさせて頂きました。ゴルフ場のコースも食事も宴会も帰りの飛行機も思い出深い旅でした。島さん、岩本さん、永家さん、松之木さん各コースの幹事さんに感謝致します。 足立 常孝

20 周年記念旅行ご苦勞様でした。色々とお世話を掛け皆様に感謝申し上げます。 伊藤 正隆

北海道のお土産ありがとうございました。 谷腰 康夫

高山市史編纂委員 田中 彰 様のご来訪を歓迎致します。郷土館も新しく「飛騨高山まちの博物館」としていただきましたのでまた見学したいと思います。 今井 俊治